

2年の任期を 終えての所感



委員 西宮 三春

議員になって初めて議会だよりの編集を議員自らが行っていることを知りました。市民に伝わりやすいように一字一句を編集委員会でチェックしていますので、「読んだよ！」と声をかけてもらえると、本当に嬉しく励みになりました。

今後も市議会だよりを通して、市民の皆さまとしっかり繋がっていただけるように努力してまいります。



委員 真崎 寿浩

編集に携わっていつも思うことですが、議会だよりはありのまま事実のみを伝える事のなかに、質問者や答弁者において、その人の思いや考え方を伝える（連想できる）ことができればと考えて編集しております。

活字における「伝える事」の難しさを実感しつつ、引き続き編集力を深めていきたいと考えています。2年間ありがとうございました。



委員 高久 昭二

議会と市民の架け橋となる「仙北議会広報」は、定例会毎に編集作成され、全戸に配布されています。

その中で、読まれる市民の声、感想がやや不足していました。

私も議員の一人として、今後共市民の方々から「議会広報」の声や感想をお聞きする様自ら伺いして、それらの声が広報編集に反映できる様、4月から委員会も再編されますが、努力していきたいと思えます。



委員 中村 和彦

広報委員の役割は、議会の内容を市民の皆様に分かりやすくまとめたものを、届ける事が、一番の使命です。限られたスペースの中で、皆様に伝わるように心がけております。もっと良いものを作るために、「ご意見」「ご感想を是非ともお聞かせいただければ幸いです。2年間ありがとうございました。



委員 澤田 雅亮

広報委員会を2年経験してどうすれば市民にもっとわかりやすく伝わるのか、ということ意識し

ており、SNS等も合わせた周知に努めていました。ネットが中心の世の中においてもやはり紙で見たいという方も多いと思えますのでよりわかりやすく、より簡単に一目で見てわかるような広報作りも今後検討していきます。



委員 平岡 裕子

とある議員研修会で自治体の長である方が、「選挙洗礼」という言葉を繰り返し話されたことを思い出します。録音を文字化した一般質問・答弁原稿をもとに、限られた紙面に両者の考えをまとめる難しさを毎回感じます。議会で質問が選挙洗礼の一役を担うとすれば尚更です。質問内容や担当執筆に叱咤激励の声もいただき感謝です。



委員 小田島 広仁

2年間、広報編集特別委員会に在籍し、重要な一般質問を限られた文字数で市民の皆さんにお伝えする難しさを強く感じました。何度もやり直しや文字の削減をする作業が続きましたが、質問内容、答弁を確認することで自分にとって大きな学びとなりました。

改めて思うことは、分かりやすく、印象に残る一般質問をすることが大切であり、今後も心掛けていきたいと思えます。



副委員長 高橋 輝彦

平成30年に初当選してから連続6年間、編集に携わってきました。なかなか、これまでの殻を抜け出せず、誌面の構成は殆ど変わっておりません。そろそろ、若手編集委員の大胆な発想による刷新が必要と感じております。

昨年度は経費削減のため、オール白黒になりましたが、今年度は表紙と裏表紙だけはフルカラーにしているはずですので、見て楽しく、読んで興味湧く「市議会だより」にしたいと思っております。是非、読んでいただいた際の感想を議会事務局までお寄せください。

人事案件

(敬称略)

教育委員会 教育長

須田 喬 (65歳) 【再任】
田沢湖生保内字下滝沢 62

伊藤 登志雄 (68歳) 【新任】
角館町中菅沢 92-12

監査委員

田口 和典 (65歳) 【新任】
田沢湖生保内字男坂 7-2

人権擁護委員

伊藤 一智 (66歳) 【新任】
西木町上荒井字寺村 38

西木町上荒井字寺村 38

編集後記

市議会だよりNO67号より74号まで8回、2年間広報委員各位の協力により遅れることなく、無事発行し議会の動きを市民に届けることができました。

コロナ禍があり市民生活も大きな制約も受けましたが、少しずつ平時に回復傾向ですがまだまだとの思いです。

議会だよりの紙面も予算の関係からカラー刷りから白黒と変わり、多くの市民の皆様から読みにくいとの指摘もいただきました。ご指摘もいただきました。また限られた紙面の中でできる限り多くお伝えしたいと思いかから文字も小さかったかもしれません。

市民の元氣な姿を伝えたり、仙北市の課題もあつた中で読んでいただくために見出しなどの文言に工夫が必要だったかもしれません。

振り返れば反省の多い2年でしたが皆様の叱咤激励に感謝申し上げます。



(委員長 荒木田 俊一 記)